

東京警察病院 (Tokyo Metropolitan Police Hospital)

当院では“**身体障害者補助犬**”を受け入れております

院内で補助犬を見かけた際は、あたたかくお見守りください
補助犬以外の動物（セラピー犬含む）同伴のご来院は固くお断りしております

受け入れ可能な補助犬（身体障害者補助犬法に基づく以下の3種類）

1. 盲導犬（目の不自由な人の歩行をサポートします）
胸に白または黄色のハーネス（胴輪）をしています
2. 介助犬（体が不自由な人の暮らしをサポートします）
目立つ部位に「介助犬」の表示札が付いています
3. 聴導犬（耳が不自由な人へ音を運びます）
目立つ部位に「聴導犬」の表示札が付いています

院内での身体障害者補助犬の同伴区域について

<p>同伴可能区域</p> 	<p>① 外来診療部門 1階ロビー、売店（ローソン）、9階レストラン憩ホール、各診療科待合室、一部の診察室（診療科でご相談ください）</p> <p>② 病棟部門 各病棟ラウンジ、各病棟談話コーナー（5東病棟除く）</p>
<p>同伴禁止区域</p> 	<p>血液浄化センター・中央点滴室、通院化学療法センター、各検査室内（放射線含む）、日帰り手術麻酔科（手術室）、5東病棟談話コーナー、集中治療病棟、救急病棟、各病室</p> <p>なお、ご入院の場合は補助犬の同伴は原則としてできません</p>

補助犬同伴者の方へ

立ち入り時に補助犬である旨を目視確認いたします
場合によっては“身体障害者補助犬認定証”を確認させていただきます

補助犬を見かけたら

補助犬は同伴者の身体の一部です

院内で補助犬を見かけた際はあたたかくお見守りください

補助犬のお仕事の妨げとなる行為はご遠慮ください

犬アレルギーなどの方はご自分で離れるか、病院職員にお申し出ください

補助犬に対する注意事項（日本補助犬協会指導）

1. 補助犬に声をかけたり、食べ物をあげないでください
お仕事に補助犬の気が散ると、事故の原因になったりします
2. 犬好きな方も、補助犬を見つめ過ぎないでください
補助犬が誘惑されてしまいます
3. ユーザー（使用者）の方が困っているようであれば、「何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけてください
何かあれば周囲の人がすぐに手を貸してくれると思うと、ユーザーの方も安心して外出できるようになります
4. 補助犬とふれ合いたい方は、必ずユーザーの許可を得てください
補助犬が仕事中はふれ合えません。ユーザーの方の脇で待っているときなど、ふれ合える場合もあります
5. お店で入店を断られている場面に出会ったら、「法律（身体障害者補助犬法）で補助犬の同伴が認められています」とお店の方に伝えてください
平成 15 年に完全施行された身体障害者補助犬法によって、スーパー・ホテル・レストランや公共施設で、補助犬の受け入れが義務付けられました



東京警察病院

2009.02. 東京警察病院感染制御対策室編